ID <<SYPID>> 患者氏名 <<ORIBP_KANJI>> 様

腰椎後方椎体固定術を受けられる方へ 【患者用クリニカルパス(入院スケジュール)】

		であり、状況に応じて変更するこ				44.505	44.000	44 8 9 8 9 44 8 45 8
年月日	平成29年10月30日	10月31日		1日	11月2日	11月3日 ~ 11月5日	11月6日 ~ 11月8日	
経過	入院(手術前々日)	手術前日	十1/10 術前	ョロ 術後	手術1日後	手術2~4日後	手術5~7日後	手術8~17日後 (14~17日で転院・退院)
達成目標	・身体に問題がなく、術前検査が終了している ・手術の必要性を理解している		・発熱(37.5度以上)や風邪の 症状がない・手術前の準備ができている		・食事摂取ができる ・痛みによる苦痛がない ・傷の腫れや赤みがない ・足に血栓がない ・歩行器で歩行できる (病室内)	・食事摂取ができる・痛みによる苦痛がない・傷の腫れや赤みがない・足に血栓がない・歩行器で歩行できる (病棟内)	・高い発熱や検査に異常がない・傷の腫れや赤みがない・歩行器で歩行できる (病棟内)	・高い発熱や検査に異常がない・傷の腫れや赤みがない・リハビリ室まで歩行ができる
	・体温、血圧、脈拍等測定・痛み・全身状態観察							
検査 治療 処置	・必要時、検査や採血・必要時、検査や採血			・傷口・手足の動き確認 ・手術した部位にドレーン留置中 ・両足に弾性ストッキング着用]			・傷のテープ交換
			・術衣に着替える	・岡原に字世代パッキング 有用 (術後5日間着用) ・フットボンブ使用し血栓予防 一・酸素マスク装着 (医師の中止指示まで継続)	・術後1日目採血	-術後3日目採血	・術後7日目採血	-術後12日目採血
		・ 手術前口に排煙がたい場合	・内服薬は指示された分のみ	・持続点滴、抗生剤点滴	- 刚孩 - 口日採皿 🥠	- 刑後3日日採皿	- 州板/口口抹皿	- 州及12口日休皿
内服薬 注射		下剤を内服	内服説明あり	- 持赖点周、机工用点周	・状態に応じて内服再開			
活動 安静度	・自由			・ベッド上安静	・医師の立ち合いで装具装着 し歩行器歩行開始	・装具装着し病棟内歩行器歩 行		
	•普通食	・夕食後より絶食	食事はできません	食事はできません	・朝食より串さし食開始	•普通食 —————		
食事		・飲水時間は麻酔医の診察 後に説明します (麻酔科医より指示あり)	・決められた時間までお茶・水が飲めます	・水分開始時は説明します				
清潔	・シャワー浴	・シャワー浴 ・マニキュアは除去(手・足) ・爪切り(手・足)			・体を拭きます ・歯磨き介助 ・更衣介助	・体を拭きます ・洗髪(術後3日目以降) ・必要時、歯磨き介助	・術後7日目シャワー浴可 (必要時看護師介助)	・シャワー浴【退院基準】・安定した歩行ができる・創部の腫れや発赤がない
排泄			•必要時、浣腸	・手術室で尿の管が入り帰室 ・排便時はベッド上で行います	・歩行器で歩けるのを確認 一後、尿の管を抜きトイレ使用 (必要時、看護師見守り)	・トイレ使用 ――――		・高い発熱がでない(37.5度以上) 【退院後の治療計画】 ・転院後(術後3か月)の外来受診
指導説書類	・入院時オリエンテーション ・ネームバンド装着 ・入院計画の説明 ・術前・術後の準備説明 ・薬剤師による持参薬調査 ・栄養士による訪問		<同意書最終確認> 手術·麻酔·静脈血栓予防等	・医師より術後説明	・適宜、医師より術後の経過 説明		<指導> ・シャワー浴について	・リハビリ継続 ・転院後入浴可 【指導】 転院前に別紙パンフレットお渡しします 【退院後の生活について】 ・転院前に別紙パンフレットお渡しします 【連絡先】
	・医師より手術の説明 ・肺血栓塞栓症予防の説明 ・麻酔医により麻酔の説明 ・リハビリテーション診察・説明 <同意書> ・手術・麻酔・肺血栓塞栓症予防について							(基格元) 徳島大学病院:電話088-631-3111 代表番号になっています。 退院後は、 整形外来:電話088-633-7237 (月・火・木 8:30~17:00) 時間外:088-633-9211 へお知ら せください。
リハビリ ・その他	#- TOU Z PH- O- HY. '*				・立位訓練、歩行器使用し歩行訓練(リハビリと一緒に)	・病棟内歩行器歩行訓練 (土日は休み)	・必要に応じて階段歩行訓練・	
	・転倒予防の指導	1	I .		1	i e		I .